

# 狛江市総合防災訓練

## 首都直下地震に備えて 8月31日(日)午前9時から

最近、全国各地でマグニチュード6から7クラスの強い地震が頻りに発生しています。

これらの震災対策として首都直下地震などによる被害を軽減するために、市民参加・体験を重点とした狛江市総合防災訓練を実施します。



消火活動の体験訓練

被害の軽減は、自らの命は自らを守る(自助)という市民一人一人の防災行動力を高めることと、「自分たちのまちは自分たちで守る(共助)」という地域の助け合いが不可欠です。

市民の皆さんは、避難経路などを確認しながら希望する会場へ向かい訓練に参加してください。

この機会に防災行動の基本を確認するなどして災害に備えましょう。

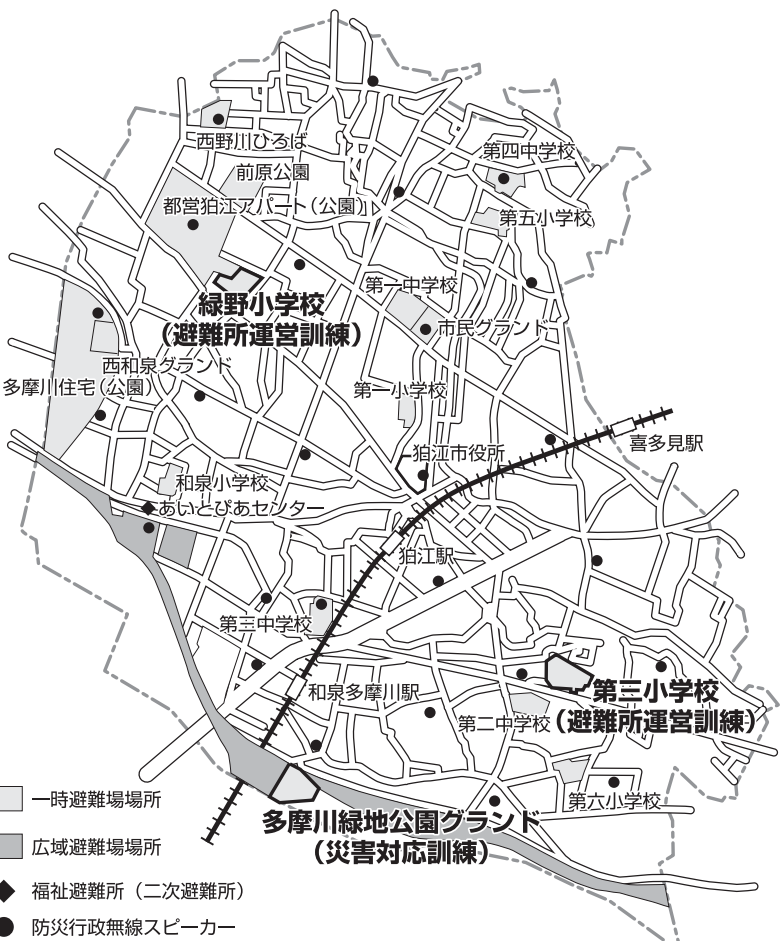
### 狛江市副市長に松原俊雄さんを選出



任されました。任期は7月24日から4年間です。

7月23日(水)開催の市議会臨時会で、松原俊雄さんが市議長の同意を得て、副市長に選出されました。

### 訓練会場・各避難場所・避難施設と防災行政無線スピーカー



※訓練会場は上記3カ所ですが、実際の災害時に市民の皆さんが避難する各避難場所・避難施設等は地図のとおりです。最寄りの避難場所等までの経路等を、各自で確認しておきましょう。

### 多摩川緑地公園 グラウンド会場

午前9時～11時30分

- ▽吹鳴を行います。
- また、訓練のサイレンなどで迷惑をおかけしますが、皆さんの理解と協力をお願いします。(問い合わせ) 安心安全課
- ▽避難訓練(狛江市防災会支部、警察官、交通安全協会員が誘導)
- ▽医療救護訓練(市医師会)
- ▽備蓄品(避難テント・仮設トイレ)設置訓練(市職員)
- ▽ライフライン施設応急・復旧対策訓練(管工事組合、東京電力、NTT東日本)
- ▽飲料水・食料等の供給訓練(市職員、赤十字奉仕団)
- ▽救助・救急活動訓練(東京消防庁ハイパーレスキュー隊、建設業協会など)
- ▽震災消防活動訓練(狛江消防署、市消防団、市地区消防隊)
- ▽消火・救出救助・応急救護訓練

### 第三小学校 緑野小学校会場

午前9時～11時

- 練(消火、救出救助資機材取り扱い、応急救護の体験)
- ▽市災害対策本部設置・運営訓練
- ▽防災広報活動(狛江消防署)
- ▽避難訓練(狛江市防災会支部、警察官、交通安全協会員が誘導)
- ▽情報収集伝達訓練
- ▽避難所の開設・運営訓練(体育館内避難スペース、仮設トイレ等の設置)
- ▽飲料水・食料等の供給(応急給水、アルファ化米炊き出し)訓練(市職員、赤十字奉仕団)
- ▽地区消防隊可搬ポンプ展示(市地区消防隊)



—その175—

天王様・胡瓜・河童

明治四十三年の夏以来、八月一日には、伊豆美神社の境内にまつられる諏訪神社と八雲神社の例大祭が行われてきました。お諏訪様は稲荷神社の社殿に、八雲様はその向かいの神明宮の社殿に鎮座。八雲様は明治初年に、牛頭天王を八雲神社と改称したので、天王様ともよばれています。

例大祭は、いまでは宵宮も本祭りも、小町宮司と世話人(14人)だけで行われていますが、かつては神楽の奉納などもあり、参拝者でにぎわいました。

「お諏訪様は豊作祈願などにご利益があるし、夏病みにもいいって聞いているけど、八雲様のほうが、特に疫病にはご利益がある厄病神だつてね(中和泉本橋兼吉さん 明治24年生) 喜多見(世田谷)の須賀神社も天王様とよばれ、祭礼は八月二日。狛江にも講中があります。今年の宵宮にも駒井囃子を奉納。いまでは駒井講中(23戸)だけになりましたが、十年ほど前までは猪方にも講中がありました。

「天王様の講中は、キュウリを丸切り(輪切り)にするものではないって。切り口が天王様の紋(木瓜紋)と同じになるからつてね。うちでは、斜か回し切りにする。これは、おふくろがよく言っていたな(駒井 秋元清平さん 明治38年生) キュウリの初なりを、かつては川へ流す習わしもありました。

「キュウリの初なりを天王様に流すのだといって、田中橋のところへ流しに行つたんです。親たちがやっていた。田中橋、いまは地名だけ残っているけど、六郷用水が流れていて、洗い場もあつてね(中和泉 白井秀さん 明治26年生) 「初めてキュウリが採れたとき、水神様について、一本、大川(岩戸川)に流したものです。小さくてもいいから、初もの流してきなつて、おばあさん(姑)に言われてね(岩戸南 川合キンさん 明治36年生) 「キュウリとナス、初ものを川へ流すと、たくさん採れるようになるっていう、裏の川に流したことがあつた(駒井 間鍋喜代治さん 大正3年生) 多摩川に流す話を、駒井で数人から聞きました。

「キュウリの初ものは、いまは仏さまに、昔は河童さまにあげるといって、多摩川に流した(松坂由雄さん 明治44年生) 「二番初めに採れたキュウリは、河童にあげるものだった、多摩川に流しに行つた。昔は多摩川で泳いだでしょう。それでキュウリをあげておくと、河童に引込まれないって。娘や息子をつれて流したこともあります。上の方から流れてきましたよ。あつちこつちで、やっぱり初なりを流したんですよ(高橋三五郎さん 明治32年生) キュウリを川に流すときは、悪いことが来ないようにと、ナムアマダブツを唱える人もありました。

中島 恵子

(狛江市文化財専門委員)